

平成２７年度第４回石狩市行政改革懇話会議事録

日 時：平成２８年３月１４日（月）１６：００～

場 所：石狩市役所３階 庁議室

出席者：下表のとおり

委 員			職 員	
役職	氏 名	出欠	所 属	氏 名
会長	角川 幸治	○	(事務局) 総務部長	佐々木隆哉
副会長	永山 隆繁	○	(事務局) 総務部行政管理課長	森本 栄樹
委員	能村久美子	○	(事務局) 総務部行政管理課職員担当主査	青木祐一郎
委員	藤沢 和恵	○	(事務局) 総務部行政管理課職員担当主査	古屋 昇一
委員	松谷 初代	欠		
委員	向井 邦弘	○		
委員	柴田由美子	○		

傍聴人：０名

【事務局：森本課長】

只今から、平成２７年度第４回石狩市行政改革懇話会を開会いたします。

本日大変お忙しい中お集まり頂きありがとうございます。

佐々木部長が議会日程変更のため、急遽議会となりましたので遅れて参ります。

本日は松谷委員が所用のため欠席の旨の連絡を受けておりますことをご報告します。

この後の進行につきましては、角川会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【角川会長】

皆さん大変お疲れ様です。

前回の懇話会は欠席させていただきました、ご迷惑をお掛けしまして申し訳ありません。

第３回は永山副会長が大変効率よく、きっちりと進めていただいたということで、議事録でも確認させていただきました。私などよりも貫禄の議事進行であったと思います。あらためてお礼を申し上げます。

第４回の懇話会ということで、これまで各班において何回かグループワークを行いました。非常に活発な意見交換ができた、成果があったと感じております。今回は総まとめの会議になります。お手元にたたき台としての報告書（案）がございます。これについて皆様に修正していただくということが本日の目的です。通読し、補足しながら進めたいので、ご一度ください、よろしくお願いいたします。

前回、私は出席できませんでしたので、永山会長から報告書（案）の内容について、ご説明いただきます。それではよろしくお願い致します。

【永山副会長】

少し目を通していただく時間を取りたいと思います。

それでは私のほうから報告書（案）について、ご説明いたします。

前回の懇話会でさまざまな意見が出ましたので、それを反映させて会長と案を作成しました。

平成27年度の審議事項として大きく3つがございます。

1. 次期行政改革大綱にかかる委員提案について
2. 石狩市行政改革2016「第4次実施計画（平成27年度実施分）」の進捗状況について
3. 石狩市行政改革2016「第5次実施計画（平成28年度実施分）」（案）の内容について

まず、次期行政改革大綱にかかる委員提案について、懇話会意見は概ね取り入れられているという印象です。

委員より出された意見を総括すると以下のとおりです。

- ・取り組むべき課題はこれまでの懇話会における議論において概ね列挙されており、次期大綱についてはこれらを踏まえ、策定にあたられたい。
- ・個々の実施項目について掲げられている目標を達成するよう、さらに取り組みを深めること。

2つ目は、石狩市行政改革2016「第4次実施計画（平成27年度）」の推進状況についてです。推進状況は概ね順当と認められるということです。

個別意見は次のとおりです。

- ・「多様な勤務時間の導入」については、住民サービスに繋がる取り組みであるため、今後も引き続き検討願いたい。
- ・「審議会への女性の登用」については、女性に限らず、さまざまな市民に届くように周知し、審議会を活発に運営すべきである。

聞くとところによるとさまざまな働きかけをされているようですが、なかなか手が上がらないということのようです。

- ・協働は総合計画でも重要な位置づけがなされているとおり、更なる進展を望む。

以上が進捗状況を踏まえての意見となります。

3つ目が、石狩市行政改革 2016「第5次実施計画（平成28年度）」（案）の内容についてです。これについても、これまでの改革の方向性に沿った検討がなされたというのが懇話会の意見でした。

個別意見としては、以下のとおりです。

- ・職員ひとり一人のセキュリティ意識の底上げは重要である。
- ・人口増加のために魅力ある石狩づくりは重要である。そのためにはアンケートにより状況把握を。
- ・中古物件のリフォームなど空き家対策に取り組むのが重要である。

以上が本年度とりまとめました報告書（案）となります。これらについて、ご議論をいただければと思います。

【角川会長】

ありがとうございます。

以上ですが、もう一度ご確認のうえ、ご意見等を頂きたいと思います。

内容につきましては、今年度3回の懇話会および各班のグループワークで皆様から頂いた意見に基づいて私と副会長で網羅したつもりです。

なお、今年度で2年の任期を終了します。

我々懇話会の意見としては、概ね意見が反映されたと考えておりますが、“もっとこうの方がいいのではないか”という事柄や、採用されなかった事柄について、再度、強調しておいた方がいいのではないかということも含めまして、各委員の皆様の総括的なご感想や想い、ご意見などを盛り込みたいと考えております。

最初はどの部分でも結構ですのご意見を頂いて、後半からは順番に皆さんで意見を出し合って修正をしていきたいと思います。

勿論、誤字・脱字ですとか表現等につきましてもご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いします。

ここに出ていないご意見もありましたので、載せたほうがいいのかというのがありましたら遠慮なくお願いいたします。

【向井委員】

“Ⅰ 次期行政改革大綱にかかる委員提案について”の項目は、“1”だけで“2”がないので、わざわざ“1”としなくてもいいのでは。

【角川会長】

通例に従っているということによろしいのではないのでしょうか。

“開陳”は大丈夫ですね。

【能村委員】

短い言葉で的確に表現するのは難しいですが、そのなかに私自身の意見も入れていただき、ありがとうございます。

Ⅲ第5実施計画の個別意見について、どの程度まで記載すべきか分かりませんが、空き家対策が“なぜ”重要かは記載する必要はありませんか。それと、アンケートの取り方については必要ありませんか。

【事務局：森本課長】

前回の懇話会でもありましたとおり、人口減少対策もありますし、壊れかけた空き家の撤去についても含んだ表現なのではないのでしょうか。また、アンケートについてはさまざまなやり方がありますので、事務局に委ねていただければと考えております。

【能村委員】

文章としていかがでしょうか。何か付け足してもいいのではないのでしょうか。中身はよいです。

【角川会長】

“状況把握が必要である。”としてはいかがですか。

よろしいでしょうか。

空き家対策のほうはいかがですか。

【永山副会長】

人口減少対策ということで前回申し上げましたが、倒壊の危険がある建物の撤去という面もありましたね。

【柴田委員】

厚田では道の駅の建設計画が進んでいますが、遠くから来ていただいても泊まる場所がないので、空き家をリフォームして宿泊施設にできればということもあります。

【藤沢委員】

空き家物件はいろんな観点から重要であるというようなことでしょうか。

【角川会長】

前回の懇話会では、親世代を呼び込む福祉対策ということでご意見をいただいておりますから、多様な意味があるのかと思います。

“中古物件の利活用（リフォームなど）”ということでしょうか。目的についてはいかがですか。

【藤沢委員】

多角的に見て、中古物件の利活用が大切で、その中に空き家対策もあれば人口減少対策もあれば道の駅のこともあるということですね。

【能村委員】

前項で人口増について触れているので、このままでよろしいのではないのでしょうか。

【角川会長】

みなさんよろしいでしょうか。

【能村委員】

前回、協働について言い残したことがありまして、協働提案が不調であるのと協働が進んでいないということは別の話ではないかということです。石狩市では協働提案という門をくぐらなくても、他の手段で進んでいるのかと思います。

また、「歴史資料の整理編纂」について、私自身も提案制度を活用し、仕事で貴重な動画を目にすることがありますので、市役所とか図書館とか新港にある動画の整理を提案制度で引き受けたいと考えています。

【角川会長】

「歴史資料の整理編纂」については、個人的にも興味がありますし、大事なことだと思います。どうしても歴史資料となると古い写真や古物になりますが、動画であれば編集もできますし、目に触れやすいですね。

【能村委員】

山から石を切り出して、それを海に投げ込んで港を作るという動画が新港にはあります。それを皆さんに見ていただく仕組みが作れればと考えています。

【事務局：森本課長】

昭和40年代の映像ではないでしょうか。

【永山副会長】

歴史資料には動画も含めて考えるべきですね。

私も前回言い忘れたことがありますて、以前から申し上げていたのはデジタルで保存してはいかがかということです。ぜひ、年表の整理だけではなくデジタル化をするということとで捉えていただきたいと思います。

【角川会長】

私も趣味で古い映像、特に市電の映像を集めていますが、古いものになると30分間の映像で車一台買えるような値段のものもあります。

【能村委員】

普通のメディアは著作権がありますので、シビアなところもあります。

【永山副会長】

譲り受ける場合は、著作権問題が生じるのですね。

【能村委員】

日の目を見ない映像の中にも、多くの皆さんに見ていただきたいものがあります。

【角川会長】

多様な勤務時間の導入や審議会への女性の登用についてはいかがですか。

審議会への女性の登用については、前回も話に出まして、女性に限らずに多様な方たちの参加についても、審議会が充実すればということで議論したところです。

よろしいでしょうか。

一通り皆さんのご意見いただけたと思いますので、よろしければ本日頂いたご意見を踏まえて修正を加えまして、後日事務局から皆さんにお送りします。

完成した意見書は今月3月中の出来るだけ早い段階で、私の方から代表して田岡市長に提出させていただくということで、ご了解いただきたいと思います。

よろしくお願いします。

それでは、今年度はこれで懇話会も終わりですので、皆さんから一言ずつ何か懇話会の感想とか、あるいはこの懇話会を今後このようにしたいなどのご意見も含め、会長の進行が悪いなど、どんなことでも結構ですから一言ずつ頂きたいと思います。

永山副会長からお願いします。

【永山副会長】

今年度も A 班 B 班に分かれて検討しましたが、私の班では KJ 法を用いて意見を出していただきました。たくさんの意見が出まして、その意見も多く取り入れられたということで、非常に良かった。今期は非常に良かったと思っております。

【能村委員】

発言を短い言葉でまとめていただきまして、ありがとうございます。会長、副会長、事務局に頑張っていただいたと思います。また、とても話しやすい状況を作っていただきましたが、今年はこの懇話会が何を審議し、何を行うところなのか分からなくなるぐらい多岐にわたる意見を述べさせていただいたというのが感想です。違う審議会の範疇になることもあったかと思います。

また、事務局からの資料について何を準備すればいいかについて、次からはアドバイスをいただければありがたいです。

【藤沢委員】

皆さんと時間の無いなかやってきましたが、皆さんのお話を聞くと意見がでますが、会議が終われば忘れてしまうことの繰り返しでした。意見については、次年度に活かしていただければと思います。半歩か一歩進んだのかなと思いますが、置かれている環境も変わりますので、今後も行政改革は必要ですし、思うところは話させていただければと思います。

【向井委員】

私も委員になって4年ですが、ほかの審議会に比べても活発に意見が述べられていると思います。やはり、委員になったからには自分の意見を反映させることが必要で、班での検討も良かったと思います。

【柴田委員】

2つの班に分かれてのグループワークでは、会長をはじめ話しやすい環境を作っていただき、意見を述べることができました。また、勉強させていただき、今後、地域の中で活かしていきたいと思います。

【角川会長】

以前の委員でした堀弘子さんにお会いする機会がありまして、途中で退任することとなり申し訳ありません、皆さんによろしくお伝えくださいとのことでした。

また、本日は欠席ですが、松谷委員についてはブレインストーミングに慣れておられ、検討をリードしていただきました。ありがとうございました。

今期に関しては、永山副会長が導入されたブレインストーミングが圧倒的な成果を上げたと思います。班に分かれて検討するのは昨年度から行っておりますが、ブレインストーミングはさっそく私たちの班でも取り入れました。あらためて行くと目に見える成果がありました。また自分の会社の会議にも採用したところです。

会長として懇話会を進めさせていただきましたが、話しやすい環境づくりを意識して参りました。プロフェッショナルでなかったことに反省はありますが、逆にそれを持ち味にしていきたいなと思います。永山副会長をはじめ、ベテランの方々がいらっしゃって心強いかぎりでした。今年度は特に何の不安もなく進めることができました。

庁内の意識改革については、少しずつ進んでいると思います。これは間違いなく当懇話会の成果と確信しております。ただ、この懇話会の本当の目的、やらなければならないことが、ぶれてはいませんが、他の審議会との棲み分けが難しくなっていると感じております。様々な審議会があり、それぞれの役割がありますが、オーバーラップする部分も増えてきたと認識しております。しかし、最終的な成果である市政への反映や、市民の皆さんへのプラス効果があれば、それでよろしいのではないのでしょうか。形式ばったり、言いたいことが言えないのであれば意味がありません。そのようなことから、この懇話会はさらに良い方向に進んできているのではないかと感じております。

また、日々考えていることとしまして、民間の活力をもっともって入れていくべきではないかと思います。私も経営者のはしくれです。日々自分の会社を改善し、成果をあげていくにはどうすればいいか考えておりますが、それを市の行政改革に活かすことができなくはないと思います。たとえば企業経営でよく言われる、PDCA サイクルですとか社員教育ですとか、経営コンサルタントが行う研修などです。

それと、更なる ICT 化です。第一級の民間企業は、我々の想像をはるかに超える ICT 化を進めております。もちろんアナログの部分は絶対に必要です。例えば、バックヤードでは ICT 化を進めながら、窓口はアナログを大事にする。これを徹底すべきではないでしょうか。人間の気持ちに直接触れることについてはアナログを大事にするべきだと思います。

この行革懇話会は、来年度以降も続きます。まだまだ課題はあります。今後ご縁があればよろしくお願い致します。

本当にありがとうございました。

【事務局：佐々木部長】

皆さん、お疲れ様でございます。
遅れまして申し訳ございません。

年度末においてこの場で評価を頂くことが、私がほっとできる瞬間でございます。

報告書の内容につきましては、今後、行革本部会議において報告させていただき、これを踏まえて、次年度の行政改革に繋げて参りたいと思います。

行政改革は一度限りのものではなく、不断に取り組まなければならないものですので、しっかりと取り組んで参ります。

皆さんのご意見のなかで、環境が変わっているというお話がありました。少し前までの行政改革であれば、削減が第一でしたが、現在は削減よりもいかに地域を経営していくか、そのために行政は何をするべきか、そのなかで民間活力をどのように活用していくか、また、協働という視点で考えると、どのように地域の資源、市民を含めた民間のノウハウや知見を明日のまちづくりに結集していけるかが今後問われていることで、このようなことから、審議会相互で話し合うべき事項が重なり合っていくのは、ある意味必然ではないかと考えております。ひとつの事柄に様々な角度から光をあてて考えてみることも大事なことでと思いますので、懇話会委員の皆様方には、グループワークも含めて熱心にご議論いただいたことにつきましてはあらためて御礼申し上げます、ありがとうございました。

今計画の検討については今年度で終了しまして、来年度は新しい委員の皆さんで新しい計画を作る時期となりますので、本日おいでの皆様のなかにも引き続き委員をお願いすることもあろうかと存じますが、その際は是非よろしく願いいたします。また、今回で退任される方につきましては、これを限りとせずに、今後も石狩市の行政改革に注目し、不備について厳しくご指摘いただければ、我々としても一層やりがいがありますのでよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

【事務局：森本課長】

会長、副会長をはじめ、委員の皆様方におかれましては、2年間ありがとうございました。特に昨年から懇話会外のグループワークでもご議論いただき、感謝を申し上げます。いただきました意見については、職員一同、行政改革に活かしていただきたいと思います。ありがとうございました。

【事務局：青木主査】

2年間ありがとうございました。また、行き届かないところがありましたこと、お詫び申し上げます。今後も、懇話会内外を問わず、ご意見やご指摘をいただければと思います、

ありがとうございました。

【角川会長】

それではこれで終了したいと思います。

皆様、本当にありがとうございました。

【閉会】

平成 28 年 4 月 22 日 議事録確定

石狩市行政改革懇話会 会長 角川 幸治